

# 大甕小学校通信

令和3年10月1日(金) 文責：校長 佐藤 伸洋



## 令和3年度後半、 充実した期間にするために…

令和3年度の1年間の教育活動を考えると、折り返しの時期になりました。  
10月からは、原町区小中学校音楽祭や遠足・宿泊活動、学習発表会、持久走大会等の行事開催が続きます。通常の学習活動、生活を継続しつつ、気持ちを切り替えながら、目的意識をもって活動することが成長(変容)のために重要となります。行事を契機として「めあてを設定する」「達成のための方法を考える」「最後まで粘り強く挑戦する」「振り返る」「取組のよさを次の活動に生かす」という「学びのスタイル(学び方)」が培われ、各教科等の学習にも生きてくるものと考えています。  
ご家族の皆様の称賛や励ましの言葉かけを、引き続きよろしくお願ひいたします。

●本号では、「令和3年度全国学力・学習状況調査結果」について、お知らせいたします。

※ 日々の教育活動は、大甕小学校ホームページ(南相馬市ポータルサイト)に掲載中です。

### 令和3年度全国学力学習状況調査の結果について

●対象第6学年の調査結果は裏面に掲載しています。※ 様式は南相馬市統一。HPにも掲載中。  
本校の傾向としては、学習の意義や目的に関する意識が高く、授業時間以外では、家庭学習の時間の確保及びその習慣化も図られています。国語：概ね全国平均正答率と同程度、算数：全国平均正答率を下回っていることからすると、全学年を通じて、基礎基本の定着の上に、さらなる指導方法の工夫・改善を加えて、活用力を高めていくことが課題となります。  
(南相馬市全体では、小学校：国語・算数ともに概ね全国平均正答率と同程度。)

#### 南相馬市授業改善プランⅥ<南相馬市教育委員会>

- ◆令和3年度 授業改善のポイント「協働して解決する力を育成する」 → 授業実践を積み重ねていく。
- ① 話し合いを通して、考えを共有・吟味する場を設定する。
  - ② 話し合いをコーディネートし、子どもが主役の授業を実践する。
  - ③ できた!わかった!と実感できる「まとめ」「振り返り」をする。

今後は、これまでの取組を継続するとともに、「調査結果の分析から見てきた課題」を改善するための次の方策等をより意識して指導を継続していきます。

- 粘り強く取り組む態度・姿勢の奨励・称賛。
  - 協働して解決する学習活動の意図的な取り入れ。
  - 自己マネジメント力(管理・調整する力)の育成。
- ▶2年生国語科学習：教材文『お手紙』

グループごとに役割や音読の仕方について話し合い、音読発表会に向けた準備を進めている様子です。教科書には「ゆっくり」「やさしく」「ふしぎそうに」「かなしそうに」等の話し合った音読メモがしっかりと書かれています。

